

81	建設局	都道のバリアフリー化
事業概要	<p>高齢者や障害者など、誰もが安全で円滑に移動できる環境を確保するため、歩道の段差解消や勾配改善、視覚障害者誘導用ブロックの設置など、道路のバリアフリー化に取り組んでいる。</p> <p>都道においては、平成28年3月に策定した「東京都道路バリアフリー推進計画」に基づき、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場や観光施設の周辺等において、道路のバリアフリー化を進めている。</p> <p>また、国道・都道・区市道等の連続的、面的なバリアフリー化を図るため、競技大会会場周辺等において国や区市等と連携した取組を進めるとともに、東京2020大会のレガシーとしてバリアフリー化を推進するため、主な駅周辺での道路の面的なバリアフリー化に取り組んでいく。</p> <p>更に、高齢者や障害者をはじめとする全ての道路利用者が使いやすい道路となるよう、障害者団体等と意見交換を行いながらバリアフリー化を進めるモデル事業に取り組んでいる。</p>	
これまでの経過	<p>平成27年度 特定道路※1及び想定特定道路※2の整備完了（都道327km） ※1：生活関連経路を構成する道路法による道路のうち、国土交通大臣がその路線及び区間を指定したもの ※2：将来、特定道路に指定されることが想定される道路</p> <p>平成28年3月 「東京都道路バリアフリー推進計画」策定（都道180km）</p> <p>平成29年度 競技会場周辺等の区市道のバリアフリー化を対象とした補助制度創設</p> <p>平成30年度 障害者団体等と連携した道路のバリアフリー化（モデル事業）に着手</p>	
現在の進行状況	<p>○平成30年度事業</p> <p>(1)「東京都道路バリアフリー推進計画」に基づく整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道 日比谷豊洲埠頭東雲町線 晴海通り（中央区晴海4丁目） ・一般都道 府中調布線 旧甲州街道（府中市白糸台6丁目） <p style="text-align: center;">他 43か所 計 約20km</p> <p>(2) 東京2020競技大会会場周辺等における区市へのバリアフリー化補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7区2市 <p>(3) 障害者団体等と連携した道路のバリアフリー化（モデル事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1箇所（JR浮間舟渡駅前広場） 	
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京都道路バリアフリー推進計画」に基づき、東京2020競技大会会場や観光施設の周辺等の都道約90kmを平成31年度までに完了させるとともに、駅や官公庁、福祉施設などを結ぶ都道約90kmを平成36年度までに完了させる。 ・区市への財政支援により、競技会場周辺等における面的なバリアフリー化を推進する。 ・東京2020大会のレガシーとしてバリアフリー化を推進するため、駅と公共施設、福祉施設などを結ぶ道路のうち、特に高齢者や障害者等の移動が徒歩で行われている道路（国道・都道・区市町村道）の面的なバリアフリー化に向け取組を実施する。 ・障害者団体等と連携した道路のバリアフリー化（モデル事業）の平成32年度の完了に向け、検討会（意見交換等）を継続して実施する。 	
問い合わせ先	建設局 道路管理部 安全施設課	電話 03-5320-5302